

- ◆育てる支援・学び応援プロジェクト**
- 学校、家庭、地域の連携により、子ども達を地域全体で支えるとともに、教育施設や教育指導体制の充実などにより、子ども一人一人が学び、遊ぶ環境を形成します。
- 【主な取り組み】
- 子ども医療費の助成
 - 児童生徒数の変動に応じた学校適正配置の検討
 - 小・中学校体育館への冷暖房設備設置

- ◆誰もがいきいき健やかプロジェクト**
- 住み慣れた家庭や地域で、その人に応じたライフスタイルを享受できる仕組みを構築するとともに、誰もがのびのびと健やかに生活を送れる環境を形成します。
- 【主な取り組み】
- 介護ボランティアポイント制度の創設
 - スポーツ健康推進計画の推進
 - 「ウォーキング・ラン・タウンえびな」歩道の整備



(仮称) 市民活動支援施設イメージ図

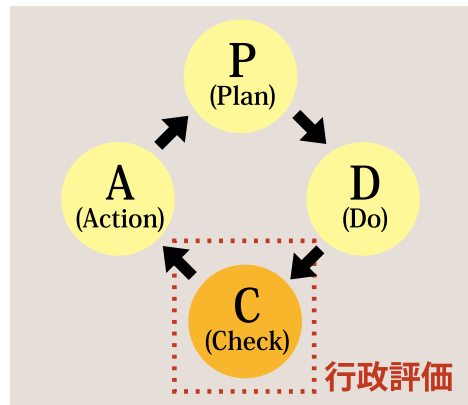
- ◆市民活動と生涯学習推進プロジェクト**
- 自治基本条例、市民参加条例および市民活動推進条例の理念に基づき、各種市民活動を支援するほか、地域住民の連携の場、自主的な活動の場、生涯学習・スポーツの場を幅広く提供します。
- 【主な取り組み】
- 相模川海老名スポーツ施設のネットワーク化
 - 市内各コミセンの改修
 - (仮称) 市民活動支援施設の建設と運営

集中戦略プロジェクト

- ◆安全・安心快適居住プロジェクト
- ◆まちなにぎわい創出プロジェクト
- ◆新市街地形成促進プロジェクト
- ◆誰もがいきいき健やかプロジェクト
- ◆育てる支援・学び応援プロジェクト
- ◆市民活動と生涯学習推進プロジェクト

P・D・C・Aサイクルを活用した行政運営

市では、健全な行政運営のため、P(プラン:計画)・D(ドゥ:実施)・C(チェック:評価)・A(アクション:改善)を効果的に運用しています。第四次総合計画後期基本計画においても、このPDCAサイクルの活用にあたって、必要な改善を行いながら毎年見直しを進めていきます。



市の行政評価は、事業を所管する課などが行う担当部課評価、各部などの次長で構成される行財政改革推進委員会が行う内部評価、市が実施する行政評価を第三者の市民の目線で再評価する機関の外部評価委員会が行う外部評価の3手法で行っています。

平成23年度実施計画事業(第四次総合計画の約400事業)では、全事業での担当部課評価を、このうち47事業で内部評価、27事業で外部評価を実施しました。行政評価の結果は、市ホームページまたは図書館および市役所1階の情報公開コーナーでご確認ください。

◆外部評価委員会とは

学識経験者や公募市民など、12人で構成されています。同委員会では、行政側で気付かない課題や事業の必要性、効果や改善などへの提案や行政評価制度そのものについての助言を行っています。

- ◆安全・安心快適居住プロジェクト**
- 防災や安全対策などの強化、環境保全・公衆衛生の向上、都市基盤整備の推進により、快適な都市空間を創出し、安心して暮らせるまちを形成します。
- 【主な取り組み】
- 空き地・空き家の適正管理に関する条例の制定
 - 防災協力農地制度の創設
 - ごみの戸別収集実験の実施・検証
- ◆まちなにぎわい創出プロジェクト**
- 都市基盤整備の推進や企業立地を促進するほか、地元商店などの活性化や、憩い・やすらぎを与える公園整備により、市民だけではなく多くの来街者により、にぎわいを創出します。
- 【主な取り組み】
- 海老名駅自由通路整備
 - 企業立地の促進
 - 幹線・準幹線道路の整備

- ◆新市街地形成促進プロジェクト**
- 快適な都市空間を目指し、海老名の新しい顔となる機能的でまとまりのある新市街地の形成を図ります。
- 【主な取り組み】
- 海老名駅西口土地区画整理
 - 新市街地(海老名運動公園周辺および本郷・門沢橋地区)の整備促進
 - 厚木駅周辺整備



▲海老名駅自由通路(駅間部)整備イメージ